

平成 18 年 3 月 15 日

## 1 学年地域学習についての報告

### 1 実施目的

- ・社会には多様な生き方や実践があることを理解し、仕事に対する情熱や責任、厳しさや楽しさなどを学ぶ。
- ・様々な活動を通して、実社会に関心を持ち、自分の将来のありかた、生き方について考える機会にする。
- ・活動を通じ、社会人とのコミュニケーション能力を身に付ける。
- ・地域の人たちに、南高を理解していただく。

### 2 実施内容

#### (1) 各施設でのボランティア活動 (9/22 (木) の統一活動日に実施)

①福祉施設	6箇所	26名
②病院	3箇所	14名
③保育園・幼稚園	13箇所	72名

#### (2) 地域の清掃活動 10箇所 129名

今井駅・御厨公園・作見公園・ベイシア前公園・古戦場・南バイパス・南校周辺  
犀川グラウンド・横田グラウンド・千曲川河岸

9/22 (木) の統一活動日の他、「清掃活動の継続」として、11/6 (日)、11/13 (日)、11/27 (日)、12/11 (日) の4日間のうちから2日間を選択して実施した。また、これに参加できなかった生徒については、12/22 (木)、12/26 (月)、12/27 (火)、1/10 (火) の4日間の中で「清掃活動の継続」の補充を行った。

### 3 訪問先からの感想

#### (1) 福祉施設

- ・緊張感を持って、知らない人々と未知の経験をする一日は大変なことだったと思います。素直に、熱心に取り組んでいただけたと感じました。今後、社会生活をしていくうえでの参考にして下さい。
- ・生徒一人一人が何かを与えられるのを待っている印象があります。目的意識を持ち、与えられたその時間と場所で、自分には何ができるのかを考えることと、何を望まれているのかを感じるための、コミュニケーションのとり方が大切です。私達もお手伝いさせていただきます。
- ・事前の内諾後、生徒さん達との打ち合わせになりました。その時、一部の方とはまとまって話し合いができましたが、その他の方とは個々別々の対応をしなければなくなり、時間がかかりました、生徒にまかせながらも、ある程度調整をしていただきたいと思います。
- ・お年寄りの方々と会話をするのが、少々苦手かなと思いました。核家族化やメールの普及などで仕方がないことだとは思いますが…。
- ・こちらのスタッフも、自分の仕事をこなしながらの対応だったので十分に接したり、指導を入れることができず、申し訳ありませんでした。それでも、一生懸命

スタッフについて介護をして下さり、本当にありがとうございました。

- 一日で全てを理解できるとは思いませんが、事前に施設についてや、お年寄りの特徴についてなどを学んでから来ていただけると、実際に接してみたら学べることも多いと思います。
- その日一日何をしたいのか、何を見たいのか等、目的をはっきり持って来ていただくと、指導も入れやすいし、より充実した一日になるのではないかと思います。
- とても真面目に取り組んでいただけたとおもいます。ご利用者からの評判も良く、礼儀正しくお年寄りに対応できていました。自分の孫のような年齢の男の子と会話ができ、ご利用者のみなさんも楽しそうでした。
- 緊張されていたからだと思いますが、もう少し積極的にお年寄りの中に入っていただければよかったです。
- 通所リハビリテーションにおいては、放課後の30分～1時間程度、作業療法の下準備をしていただくためのボランティアを募集しておりますので、お気軽にご連絡ください。
- レクリエーションの時間を約30分くらい、何か出し物等でもよいので…との事でした。お年寄りとはいえ、緊張され、同時にはづかしく顔を赤らめる姿などは、かわいらしく見えました。内容的には、「大きな栗の木下で」を振り付けて歌ってましたが、何とか4回ほど行いました。5分程で終わってしまいましたが、打ち合わせ通りの持ち時間をやって欲しかったですね。
- とりあえず、デイサービス等の施設でいいや！と思うような選択だけはやめていただきたいと思います。
- 生徒さんがいらしたので、利用者さんの表情がとても明るく、普段はあまりお話しをされない方もおしゃべりされたり、なごやかな雰囲気でした。さまざまな方がいらっしゃるので対応がむずかしかったと思いますが、熱心にやっていただき、助かりました。将来、福祉関係の仕事につきたいと考えていらっしゃるようなので、きょう一日の経験が少しでもお役に立てたらと思います。
- 長期の休みなどに、機会があつて来ていただければ、利用者の方も歓迎されると思います。
- 地域の高校として、これからの益々の発展を期待しています。

## (2) 病院

- 緊張していたのか、話しかけても反応が少なく、積極性が感じられませんでした。
- 職場、病院の見学をしているとき、やはり緊張している様子でした。やっと慣れたところで終了だったので残念です。
- 学習の目的があまりわかっていないようで、全体的に受身だった。「何をしに来たの？」と聞いても、首をかしげていた。リハビリテーション科で何をしているかという見学のみになってしまい、生徒さんにとって、本来の目的が達成できたのか、心配です。
- 慣れない職場で緊張していたようで、患者さんと話したりすることにとまどって

いたようでした。こちらの話し掛けに対し反応が薄かったりと、消極的な面がありました。車イスの操作や、リハビリの内容、患者さんの様子などに驚きや発見を見出している様子が伺えました。

- ・目的があいまいなためか、やや受身的な印象を感じました。
- ・緊張していたせいなのか、消極的な生徒が多かったような印象です。
- ・実習の目的が生徒に伝わっておらず、戸惑っている様子でした、こちらの問いかけに対しても反応が薄く、正直やりにくさを感じました。
- ・今後、活動を継続するとしたら、生徒さん自身が興味のある分野の仕事、職場が体験できるような体制が必要。
- ・医療・福祉に興味のある方に来ていただいたり、目的を設定して行っていけば良い研修になると思いました。
- ・一日の活動だけではコミュニケーションを取りづらい面もありますが、生き生きと積極的に参加できればよいと思います。
- ・半ば強制的な職場体験では、生徒も興味が持てず、積極的になれないと思います。生徒がどのような職業に興味があるのか希望を取り、できるだけその希望をか纳えてあげることができれば、意味のある職場体験になるのではないのでしょうか。
- ・少しでも医療に関心のある学生が見学をするのが良いのではないのでしょうか。
- ・医療に関心のある生徒さんを、希望制で見学をするという形にすると、より生きた職場体験になると思います。
- ・まだ一年生ということで、将来のことを考える材料として、いろいろな職場を見せたいという気持ちもわかりますが、生徒にとって興味のない職場は苦痛のようです。次回以降は、もう少し生徒の興味を汲み取ってあげたほうが良いと思います。
- ・時間も正確に行動され、あいさつもきちんとできていました。病院での体験は初めての様子で、イメージがわからなかったようです。体験の目的が少しわからず、病院のペースで進めてしまいました。
- ・当院は、救急医療を中心とし、地域に密着した病院を理念に掲げています。地域の中高生の皆様には、病院を広く知っていただくために、ボランティア活動や職場体験は積極的に受け入れております。
- ・より多くの生徒さんに医療の現場を理解していただき、ぜひ医療の道にすすんでいただけるよう、ご指導をよろしくお願いいたします。

### (3) 保育園・幼稚園

- ・笑顔で子どもたちに接してくれて良かった。
- ・髪などもきちんと結んであり良かったです。
- ・運動会準備品製作を手伝ってもらったが、手際よく作ってくれ、助かりました。また、この製作が楽しかったという感想もあり、私達としてもうれしかったです。
- ・人数は今回のように5名がよいと思いました（各クラス1名）。配膳の手伝いやプール遊び（シーズンは違いますが）が可能としたら、ぎょう虫検査を受けてい

るという証明があるとよいと思いました。

- ・子どもたちと遊ぶ他に、草取りや製作物の手伝いをしていただけるとありがたいです（今後継続する場合）。
- ・ボランティアをどこまでしてもらったらよいか、何のボランティアをしてもらえるのか、明確にお聞きしておけばよかった。例えば、午前中は子どもたちと遊びましたが、その時も、もし他の事をしてもらってもよいのかなど（今回、製作手伝いは午前中にしました）。
- ・お手伝い本当にありがとうございました。学生の皆さんによろしくお伝え下さい。
- ・子どもたちと楽しく遊んだり、保育士の手伝いも自主的にやっている姿が見られた。運動会も近いので、一緒に親子競技を楽しんだり、なわとび、おにごっこ、絵本の読み聞かせもやってくれ、一人一人の子どもの話してもいいに聞いてくれ、子どもたちはとても喜んでいて。特に、「お兄ちゃん」は人気があり、子どもたちの激しい関わりにも笑顔で接していた。
- ・運動会が近いのであわただしく、ゆっくり関わる事が出来ない面もあった。できれば、大きな行事の時期ははずして欲しい。
- ・生徒達は皆、保育士に言われたことは、きちんとやっていました。
- ・無理のない日程、時間をお願いします。今回は良かったと思います。
- ・今の若い人達は小さい子と接する機会が少なく、乳幼児を知らないまま大人になり、そして母親になっていくケースが多いと思います。保育園や施設等、少しでも経験できる場を今後も設けていくべきだと思います。
- ・保育士の仕事、子どもたちの成長に興味・関心があるということで、この職場での活動に臨んでいただきました。初めは戸惑っていた表情も、子どもたちと関わる中で本来の素直な表情がみられ、思いっきり心と身体を動かすことができたのではないのでしょうか。また、挨拶のことや、マイナスをプラスへと変えていく前向きな心持ちなども具体的な場面でお話しさせていただきました。
- ・活動を終えたあと、自分なりにもっと具体的な課題を抱くことができ、実践しようとする点があればよいと思います。
- ・将来の夢を現実にするための参考になれば、また、思いを新たにすひとつのきっかけになる一日となれば幸いです。
- ・実習の機会をもっと多く持てるようでしたら、受け入れ等ご協力させていただきます。お疲れ様でした。どうもありがとうございました。
- ・事前に打ち合わせに来園し、注意事項を確認することでしっかり体験学習をしてもらうことができた。服装も活動しやすい、きちっとした服装で来れた。当日子どもたちに読む本を借りに来て、読んでから子どもたちに読んでいた。前向きに取り組む姿勢がみられ、良かったと思いました。
- ・これからも目的意識を明確にし、体験学習に取り組んでいって欲しいと思います。一日に3名くらいなら受け入れ可能です。
- ・このような取り組みはとても大切であると思います。地域の保育園として可能な限り受け入れていきたいと思っています。
- ・日頃小さい子どもと接することもあって、とても新鮮な感じで子どもたちと遊ん

で来ていました。運動会前でもあり、一緒にリズムや体操、かけっこなどして、元気に活動してくれました。子どもたちにとっても接することの少ない年代でもあり、いい経験だと感じています。

- ・製作などのお手伝いもよくやってくれました。
- ・年度の初めに予定がわかっていると、受け入れやすいと思います。
- ・高校生が自分なりに目的や課題をもってきてほしいと思います。中学生の職場体験とは違う、ボランティアとしての意識が必要かと思います。
- ・一生懸命に取り組む姿が見られ、好感がもてました。毎年、明るくやさしく子どもに接してくださる生徒さん方に保育園としても大変うれしく思っております。
- ・今年度のような形での受け入れであれば、全く問題はないと思います。
- ・男子生徒がどんな目的で保育体験ボランティアをするのか聞いたところ、子どもに興味がある。親戚に小さい子がいて、かわいいとおもったからなど、それぞれにしっかりと目的を持っていた。また、終わった後の反省会では、自分もこんなに手をかけてもらって大きくなったんだと思うことができた、関わろうとすると年齢の低い子のため、泣かれて困った、自分のところに寄ってこられ、どう話しをしてやめさせようとするればよいのか困ったなど、人との関わりについて色々学べた様子だった。また、心の中の素直な面が色々見られた。
- ・現状の受け入れ方で、今後も高校生を当園にボランティアで受け入れる事は可能です。
- ・人間と人間との関わりですので、理屈云々というよりも、体験をしてみないとわからない事が色々あると思います。
- ・今後も大いに学ぶ機会を持たせていってほしいと思います。礼儀正しく、受け答えもはっきりとしていて、好感がもてました。ご苦労様でした。
- ・子どもたちに囲まれて少し戸惑っている人もいたが、積極的に遊んでいる人もいて、好感が持てた。
- ・保育園は遊びだけではなく、生活（食事・排泄・睡眠など）も重要な部分ですが、そういう場面では傍観者になっていることが多かったように思える。わからないのは当然なので、もっと積極的に「何したらいいんですか?」と聞いてきてほしかった。
- ・言葉づかいをもう少し気をつけてほしい。返事は「はい」とか「お願いします」とか、あたりまえのあいさつができていない人がいた。
- ・普通に考えて危険な事（すべり台の反対のぼり、高い所からのジャンプ（ジャングルジム）など）は子どもも見ているし、やめてほしい。
- ・授業の一環ではあるけれど、一人一人もう少し目的を持って行なえたらよかったのではないのでしょうか?（一人一人の目的が見えなかったのです）
- ・学習活動に際して、事前に簡単な指導を行うと生徒達もスムーズに活動できるのではないのでしょうか（服装、態度、言葉など、基本的なこと）。
- ・身だしなみやことば使いが気になりました。
- ・6人の生徒さんそれぞれ個性がありまして、子どもたちと楽しく一生懸命遊んでいた子とあまり気のない子とさまざまでした。運動会の練習を盛んにやっ

したが、一緒にやったり、興味をもって見ていました。言われた事に対してはよくやってくれました（男子生徒さん）。

- 受け入れ人数は3名にしていきたい。
- 事前の指導をしっかりしていただき、目的をしっかり理解させてから参加させていきたい。
- 朝から礼儀正しい挨拶があり、特に各クラスに入ってからには自ら担任に挨拶に行き、何をしたら良いか、進んで尋ねている姿がありました。現在、はだし保育中であり、子どもたちの様子をみて、全学生が進んではだしになって活動していたり、子どもたちの中に積極的に入って関わって下さり、子どもたちの明るく楽しい表情に職員も学ぶものがあつたようです。学生なりに子どもたちに対してや担任に対する気配りもみられ、担任の中には子どもに対して時間に追われ対応してあげられなかったことが、細かくゆとりを持って対応してあげられ、助けていただいたという意見もありました。一日たいへんだったと思いますが、この職業のすばらしさや大切さにひとりでも多くの学生に気付いていただけたらと思います。
- 年一回ではなく、学校が可能であれば、年数回このような活動を取り入れていただければと思います。実習生とは違う姿に私達職員も学べる良い機会になると思います。また、多くの学生に、今のこの時に社会について学べる学習を多く取り入れていただけたらと思います。

#### 4 生徒の感想

A 私は、今回保育園を訪問しました。保育園では、5クラスに分かれていて、私が担当したクラスは0、1、2歳児の子たちがいるクラスでした。園児たちは8時から9時くらいに登園して、それから1時間くらい本を読んだり、ブロックで遊んだりしていました。その間私は本を園児たちに読んであげたりしました。はじめは子どもたちの前で読むのは恥ずかしかったけど、読んでいるうちにだんだん慣れてきました。

それから私はおやつを配ったり、園児たちと外で遊んだりしました。外では年長、年中、年少のクラスの子たちが運動会のダンスの練習や、障害物競走とかの練習をしていました。私が担当しているクラスの子は、とても小さい子たちだったので、まだダンスとか障害物競走とかはできませんでした。

お昼を食べた後、園児たちは少し遊んでからお昼寝の時間だったので、私たちは運動会で使うダンスのボンボンみたいなものをつくりました。細かい作業だったし、とっても時間がかかったけど、とても楽しかったです。午後はこの作業が主で、2時くらいから4時半までずっとやっていました。

そして、園児たちがお昼寝から起きておやつを食べたら、もう園児たちの帰りの時間が来ました。

今回、この地域活動を通して、私はとても多くのことを学びました。園児と話するときには園児と同じ目線になって話すことなど、私の身近には小さい子がいなくて、触れ合う機会が無いので、体験してみてわかったことがとてもたくさんあり

ました。今回はいろいろな事を学んだし、普段の生活では体験できない貴重な経験ができて良かったです。このことを今後の生活にも生かしていけたらいいと思います。

- B 保育園を訪問しました。保育園に入った瞬間、園児が「あ！！お姉さんだあ！！」とにぎやかにむかえてくれたのが、すごく嬉しかったです。私は2歳の子の教室を担当しました。最初のうちは全然園児となじめなくて、ただ園児をながめているだけでした。教室にはいってしばらくしてからみんなで外に出て砂遊びをしたり、遊具で遊んだりしました。私の教室は全員で5人いたけど、一人で5人同時に見ているのはたいへんで、数人にしか目が行き届かない事があり、残念でした。けれど、外で遊んでいるうちにだんだんみんなと仲良くなれたのがすごく嬉しかったです。

園児とはお昼もいっしょに食べました。すごくおいしそうに食べていて可愛かったです。

午後はみんなでお昼寝をしました。なかなか寝つかない子もいたけど、背中をたたいてあげたら気持ちよさそうに眠ってくれてすごく嬉しかったです。みんなが寝た後、担当だった先生が休んでいいよ、と言ってくれて、私までぐっすり眠ってしまいました。園児が寝ている間は、運動会が近いということで保育園の先生に頼まれてグラウンドの整備を手伝いました。おもに砂を運んだけど、結構重くてたいへんでした。これが終わったあとはお昼寝が終わりの時間で、私たちも帰る時間になってしまいました。だんだん起きてきた子もいたけど、私のクラスの子は一人しか起きていなくて残念でした。

保育園でいろいろな子と仲良くできて本当に楽しかったし、良い経験になりました。来年度も是非続けてほしいです。

- C 保育園に行きました。ボランティアということなので、やらせてもらうという気持ちを忘れないように心がけました。

前々からいわれていたことがいくつかあります。それは、爪は短く切ること、髪は邪魔にならないように束ねること、保育園で知り得た事柄を口外しないことなどです。この一つ一つに理由があります。爪を短く切るとは、爪が長いと園児を傷つけてしまうからだそうです。髪を束ねるとは、髪が園児の目や口に入らないようにするためだそうです。保育園で知り得た事柄を口外しないことは、保護者が保育園を信じてあずけているので、口外されてはいやな事もたくさんあるからだそうです。実習する前からたいへんだなあ実感しました。

保育園の中で私はばら組という2歳児のクラスを担当しました。2歳児はいろいろな子がいます。たくさんおしゃべりできる子や、しゃべれるけれどちゃんと相手に伝わらない子や、ほとんどしゃべれない子に分かれていました。しかし、どの子もみんな元気で、ついていくのがたいへんでした。

お昼になると食事の介護をします。そのときに、すごくいいいに手を洗います。ここまですごくいいいに洗わなくてはいけないのかなあと思っていると、子どもたち

の口に入るものだからきれいにしなくてはいけないと先生が教えてくれました。  
お昼寝の時間にグラウンドを整備しました。でこぼこだと子どもたちが転んでしま  
うからだそうです。保育士さんたちはこんなにやることが多いんだと驚かされま  
した。

D 私は一日保育体験をさせていただきました。場所を決定してから後は、自分達で  
決めなければなりませんでした。

第一段階としてまず、電話をして打ち合わせの期日を決めなければなりませんで  
した。なかなか責任者の方が電話をした時にいなかったため、何度も電話をかけ  
ることになってしまいました。

打ち合わせの期日が決まり、打ち合わせに行き、初めて私たちが行う内容が知  
らされました。内容はほとんど「職場体験」でした。

当日は、打ち合わせの時に指定された服装、身なりで行きました。私たちが着い  
たころには、もう園児がたくさん来ていました。クラスに案内されてまず指示さ  
れたことは、「園児たちといっしょに遊んで下さい」と明るく言われたので、い  
われるがままに遊びました。午前中は園児といっしょにひたすら遊びました。

その日は保育園の運動会を翌日に控えていたため、お昼前からは運動会の練習を  
行いました。そして給食もいっしょに食べ、お昼寝の時間になりました。やっと  
一息つけると思った途端に、「先生トントンして」と一人の子が言い出したら全  
員に御願ひされ、たいへんでした。

最初はどう接すればいいのかわからなかったり、「先生！」と呼ばれることに慣  
れませんでした。とても楽しく、貴重な体験をすることができ良かったです。

E 長野南高等学校の存続が危うくなる中、僕たち一年生は近隣との交流、清掃等の  
目的で、9月22日活動を実施しました。僕は川中島の合戦で有名な、古戦場の  
清掃を担当しました。何故古戦場を選んだかと言うと、川中島の古戦場は長野  
県の中でも有名な観光地で、休日はもちろん、平日でも大勢の観光客が訪れるか  
らです。ゴミをポイ捨てしているのは、観光客ではなく、地元の人々だという話  
しも聞いたことがあったので、やりがいのある場所だと思いました。

古戦場担当は当初の人数より増え、当日は9人でした。3人と6人の2グループ  
でほとんど別々の考えで行動しました。僕は3人のグループで行動しました。い  
ざ活動となると、思っていたよりも随分ゴミが少なく、9人では非効率的な為、  
途中で千曲川に移動しました。

千曲川への道端でもゴミ（おもに空き缶）が落ちていたので拾いながら行きました。  
農業道路にもゴミが予想以上に多く、正直拾いきれませんでした。そこで、  
目立つ物のみ拾いました。千曲川周辺はコンビニやスーパーの袋にカップ麺やお  
弁当のゴミがたくさん入ったまま放置されていたのが多かったです。空き缶が一  
番多いのですが、他にはもっと大型のゴミが廃棄されていました。すごいものは  
車のタイヤや破損したガラス等、拾えない物もありました。普段目につかない所  
でいろいろな物が捨ててあるということがわかりました。



どんなにテレビや新聞などでゴミが増え続けていることをアピールしても、聞く側が全く受け入れる気が無いのなら無駄です。やはりゴミを捨てる人はゼロになることは無いのでしょうか。もしもこのままゴミを捨てる人が減らないのであれば、僕たちがたまにこのような活動をしていても無駄になります。ゴミを拾ってゴミを減らすよりも、ゴミを捨てる人を減らすことが、僕たちが今いちばんしなくてはいけないことだと思います。これからもこの気持ちを持ちつづけて、いつか必ずゴミを減らして心地よい地域にしたいと思います。

## 5 学年総括

- ・ 6月中旬頃より準備を始めたが、もう少し早い時期から始めたかった。すぐに7月になってしまい、文化祭の準備と重なって活動を進めにくくなる。また夏休みを利用して、訪問先等と打ち合わせを入念にさせたい。
- ・ 生徒に、「地域学習」で何をやりたいか、活動内容・活動場所のアンケートをとって進めたが、夏休み前で時間的に慌しくなり、はじめに「地域学習」の趣旨とした、生徒の主体的な取り組み（計画・依頼時のコミュニケーション等で）を十分に引き出すことができなかった。そのため、活動はボランティア、体験学習の受け入れ施設、場所の選定に重点が置かれがちになってしまった。
- ・ 施設からの感想の中では、「受身的」、「趣旨を理解していない」、「ことば使いが気になった」等の厳しい指摘もあったが、ほとんどの生徒は注意を守りながら真面目な取り組みを行った。
- ・ 施設でも活動の継続を期待したが、なかなか実施に至らなかった。
- ・ 清掃活動を希望する生徒が昨年同様多く、活動場所も広範囲だったが、生徒は熱心に取り組んだ。河川敷なども適当な対象であることがわかった。